

変額保険

グローバルミックス

特別勘定の月次運用レポート

2022 年 5 月度

<目次>

1. 運用環境の主な状況	1 ページ
2. 特別勘定の運用方針/運用状況	2 ページ
3. [参考情報]投資信託の運用実績・状況	3-7 ページ
4. 当保険商品の注意事項	8 ページ

[引受保険会社]



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL 0120-568-093

平日 9:00~18:00 / 土 9:00~17:00

(日・祝日、12月30日~1月4日を除く)

<https://www.axa.co.jp/>

- 当保険商品は、現在、新規のお申し込みをお受けしていません。
- 当資料は、特別勘定の運用実績等をご契約者さまへお知らせするための資料であり、生命保険契約の募集および投資信託の勧誘を目的としたものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご了承ください。
- アクサ生命は、「運用環境の主な状況」などを信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。また、「運用実績・状況」に係る内容はいかなるものも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。



本商品は、アクサ生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険商品です。預金ではありません。そのため、預金とは異なり元本保証はありません。本商品のリスクについては本資料巻末に記載していますので、必ずご確認ください。また、本商品の詳細については、「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」をご覧ください。

■ 日本株式市場

日本株式市場は上昇し、TOPIX(東証株価指数)は前月末比+0.69%の1,912.67ポイントで終わりました。月初は、米国株高等を受けて、日本株式市場は上昇しました。その後、米国株安の影響等を受けて、日本株式市場は中旬にかけて下落しました。月末にかけては、米国株式市場が上昇に転じたことや、中国経済への懸念が後退したこと等を受けて、日本株式市場は上昇しました。

日本小型株式市場は下落しました。

■ 外国株式市場

米国株式市場は上昇し、NYダウ工業株30種は前月末比+0.04%の32,990.12ドルで終わりました。上旬は、4日に、FRB(連邦準備制度理事会)が0.5%の利上げを行ったものの、事前の想定範囲内であったこと等から、買戻しが入り上昇して始めました。中旬から下旬にかけては、今後のインフレ抑制を目的とした、積極的な利上げに対する懸念や景気減速懸念等から、米国株式市場は下落しました。その後、米国長期金利が低下したことや、一部に米国の物価上昇の鈍化を示す指標が発表されたこと等から、月末にかけて上昇しました。

欧州株式市場はまちまちの展開となり、独DAX指数は前月末比+2.06%、仏CAC40指数は前月末比-0.99%で終わりました。上旬は横這いで推移した後、欧州の景気減速懸念や米国株式安の影響を受けて下落しました。その後、中国経済の改善への期待等から上昇に転じました。月末にかけては、米国株高や中国経済への懸念が後退したこと等から、欧州株式市場は上昇しました。

新興国株式市場は上昇しました。先進国リート市場は下落しました。

■ 日本債券市場

10年国債の金利はほぼ横這いで推移し、月末には0.243%となりました(前月末0.230%)。上旬から中旬にかけては、米国長期金利の上昇の影響等から、金利はやや上昇(価格は下落)しました。その後、中旬から下旬にかけては、日銀が連続的に指値オペを実施したことや米国長期金利の低下の影響等から、金利は若干低下(価格は上昇)しました。月末にかけて、金利はやや上昇しましたが、月を通じては、日銀の長期金利の誘導目標の上限(10年金利=0.25%)近辺にてほぼ横這い推移となりました。

■ 外国債券市場

米国債券市場では10年国債の金利は低下(価格は上昇)し、月末には2.844%となりました(前月末2.934%)。上旬は、4日にFRBが0.5%の利上げを行いました。今後もインフレ抑制の為に積極的に利上げを行うとの見通し等から、米国長期金利は上昇(価格は下落)しました。その後は、景気減速懸念や一部に物価上昇の鈍化の兆しを示す指標が発表されたこと等から、月末にかけて米国長期金利は低下しました。

米国ハイ・イールド債券市場は価格が下落しました。

欧州債券市場においては、独10年国債の金利は上昇し、月末には1.122%となりました(前月末0.938%)。上旬はECB(欧州中央銀行)の利上げ観測等から金利は上昇しました。その後、欧州の景気減速懸念や米国長期金利の低下等から、金利が低下する局面もありましたが、月末にかけてECBの利上げ観測が再度高まったこと等から、金利は上昇しました。

■ 外国為替市場

米ドル/円相場は前月末比-0.65円の128.21円となりました。上旬は、米国長期金利の上昇等から、米ドル高/円安の展開となりました。その後は、米国長期金利が低下したことによる日米長期金利差の縮小等から、米ドル安/円高の展開となりました。

ユーロ/円相場は、月末は前月末比+1.93円の137.76円となりました。上旬は、欧州金利上昇の影響等を受けてユーロ高円安の展開となりました。その後、欧州の景気減速懸念等からユーロ安円高となる局面もありましたが、月末にかけては、ECBの利上げ観測の高まり等からユーロ高円安の展開となりました。

特別勘定の運用方針/運用状況

(2022年5月末現在)

■ 特別勘定の運用方針

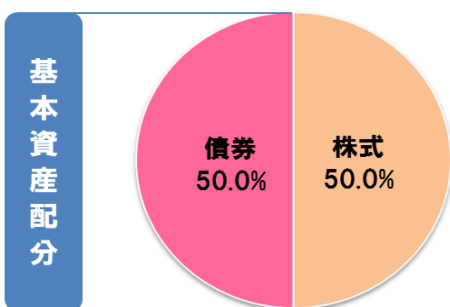
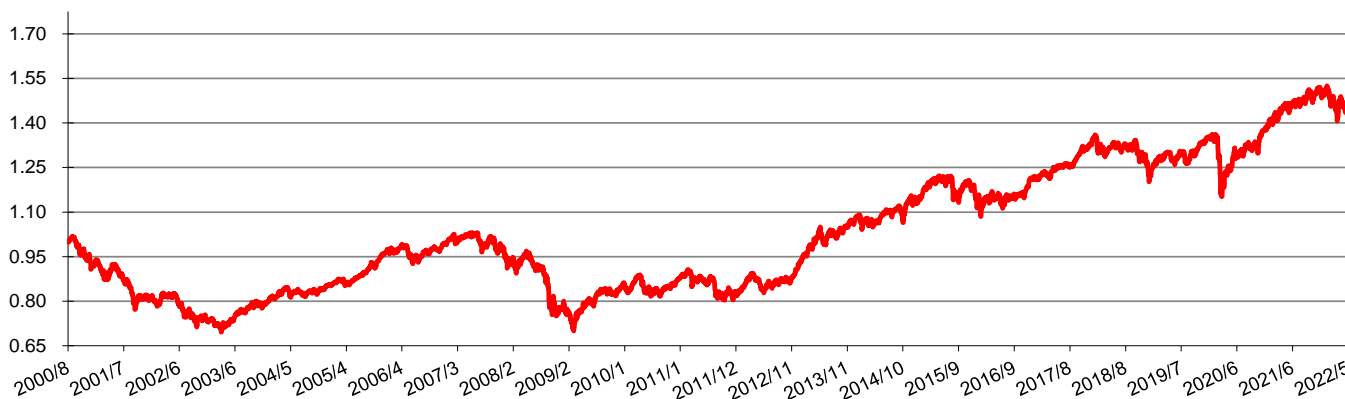
日本国債をはじめとする債券及び日本・米国・欧州の株式に分散投資することにより、中長期での資産の安定的な成長をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。基本資産配分は、株式50%程度、債券50%程度とします。運用の決定にあたっては、収益性、安全性、流動性に配慮し、運用環境の動向に応じた資産配分を行います。(特別勘定の運用は、アクサ生命保険株式会社 ALM&特別勘定運用部が行います。)

■ 利用する投資信託

委託会社...アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
 投資信託...アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A)〈適格機関投資家私募〉
 アクサ ローゼンバーグ・日本バリューストックファンド(B)〈適格機関投資家私募〉
 アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A)〈適格機関投資家私募〉
 アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A)〈適格機関投資家私募〉
 アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B)〈適格機関投資家私募〉

■ 特別勘定のINDEXの推移

※特別勘定のINDEXは特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



INDEX	騰落率(%)					
	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
2022年5月末	0.39	△ 0.50	△ 2.69	△ 0.79	14.56	45.01

※特別勘定のINDEXは、2000年8月1日を1.00として計算しています。
 ※騰落率は、当月末における、上記各期間のINDEXの変動率を表しています。

■ 特別勘定資産の内訳 千円単位

銘柄		金額	%	参照頁
現預金・その他		2,185,123	4.5	—
株式	アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) 〈適格機関投資家私募〉	5,113,102	10.5	P.3
	アクサ ローゼンバーグ・日本バリューストックファンド(B) 〈適格機関投資家私募〉	7,400,003	15.3	P.4
	アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A) 〈適格機関投資家私募〉	7,050,155	14.5	P.5
	アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) 〈適格機関投資家私募〉	5,068,420	10.5	P.6
債券	アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) 〈適格機関投資家私募〉	21,683,453	44.7	P.7
合計		48,500,258	100.0	—

※金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

※上記の内容は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A)〈適格機関投資家私募〉

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に投資します。

■ 純資産総額

52 億円

■ 設定日

2000年8月3日

■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率 表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	0.70	1.73	△ 1.00	△ 1.02	23.66	72.47
BM	0.69	1.36	△ 0.81	△ 0.54	26.48	29.01
差異	0.01	0.37	△ 0.19	△ 0.49	△ 2.81	43.46

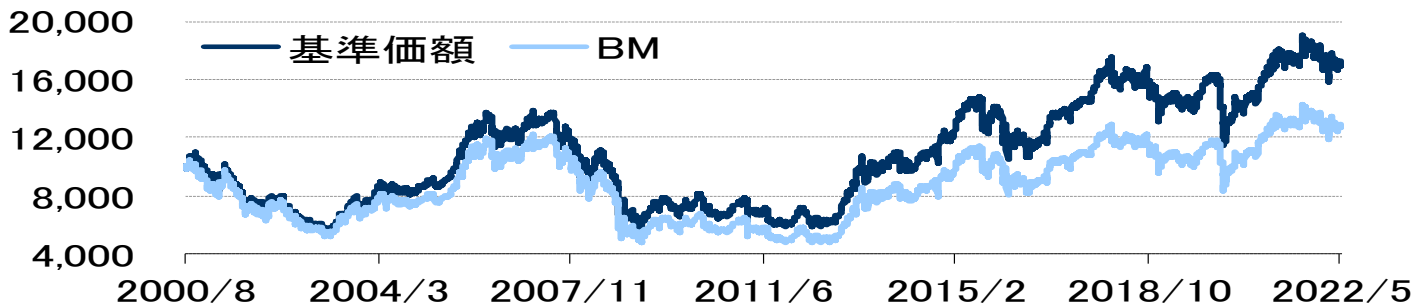
■ ベンチマーク

東証株価指数(TOPIX)

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
 ※TOPIXに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又はJPX総研のグループ会社に帰属します。

■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数：250

	銘柄	業種	%
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.69
2	ソニーグループ	電気機器	2.59
3	東京エレクトロン	電気機器	2.15
4	任天堂	その他製品	1.95
5	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.75
6	村田製作所	電気機器	1.63
7	本田技研工業	輸送用機器	1.60
8	ソフトバンク	情報・通信業	1.58
9	キーエンス	電気機器	1.57
10	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	1.36

■ 株式組入上位5業種 (%)

1	電気機器	18.51
2	輸送用機器	9.79
3	情報・通信業	9.36
4	小売業	6.05
5	医薬品	5.99

■ 市場別構成比率 (%)

プライム市場	97.08
スタンダード市場	0.95
現金等	1.97

※「株式組入上位10銘柄」「株式組入上位5業種」「市場別構成比率」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
 ※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。
 後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

[ご参考 主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況]

(2022年5月末現在)

アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B)〈適格機関投資家私募〉

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資します。

■ 純資産総額

98 億円

■ 設定日

2000年12月21日

■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率 表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	0.99	2.14	△ 1.75	△ 1.75	24.36	103.67
BM	0.69	1.36	△ 0.81	△ 0.54	26.48	48.35
差異	0.30	0.78	△ 0.94	△ 1.21	△ 2.11	55.32

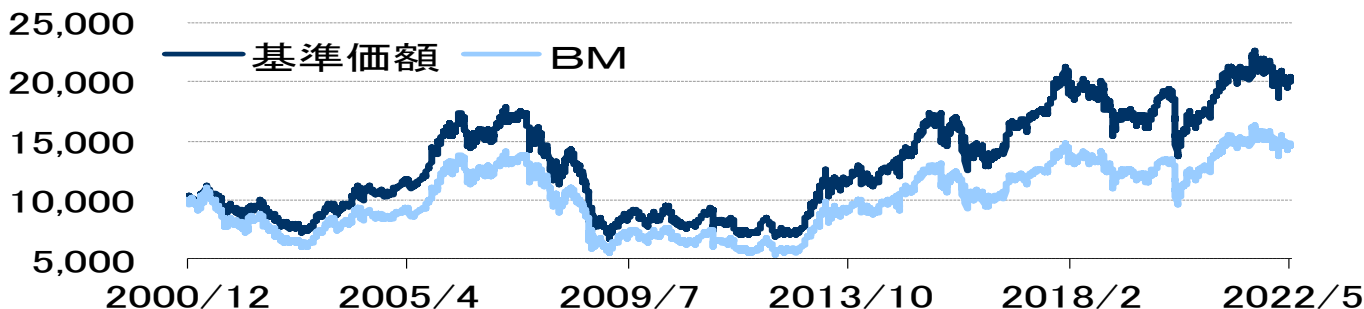
■ ベンチマーク

東証株価指数(TOPIX)

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※TOPIXに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又はJPX総研のグループ会社に帰属します。

■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数 : 186

	銘柄	業種	%
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.29
2	ソニーグループ	電気機器	2.63
3	東京エレクトロン	電気機器	2.46
4	キーエンス	電気機器	2.37
5	任天堂	その他製品	2.22
6	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.07
7	村田製作所	電気機器	2.04
8	本田技研工業	輸送用機器	1.95
9	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	1.86
10	東京海上ホールディングス	保険業	1.85

■ 株式組入上位5業種(%)

1	電気機器	18.62
2	情報・通信業	10.29
3	輸送用機器	9.63
4	機械	6.16
5	小売業	6.13

■ 市場別構成比率(%)

プライム市場	95.66
スタンダード市場	2.24
現金等	2.10

※「株式組入上位10銘柄」「株式組入上位5業種」「市場別構成比率」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A)〈適格機関投資家私募〉

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として米国の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」(バリュー株)を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

■ 純資産総額

71 億円

■ 設定日

2001年10月16日

■ ベンチマーク

S&P500種株価指数

(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース)

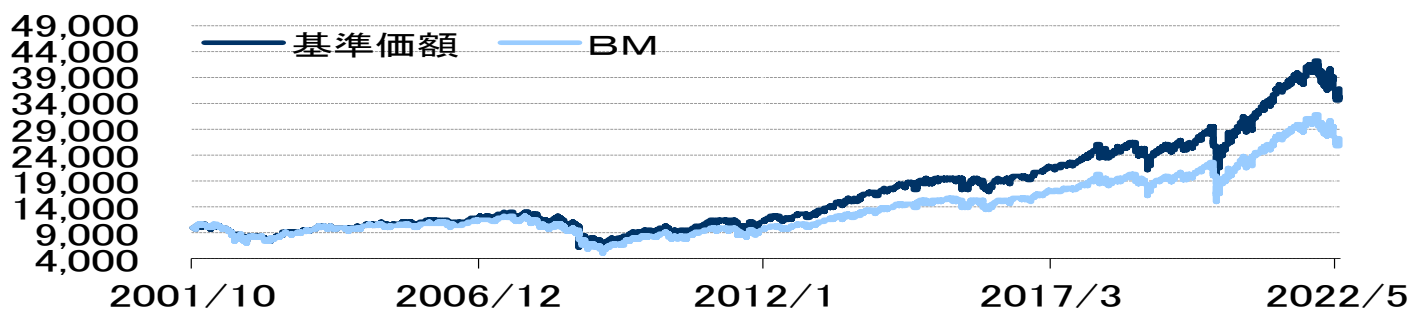
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率 表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	0.06	△ 4.72	△ 10.41	△ 1.22	48.53	266.74
BM	△ 0.72	△ 5.40	△ 11.01	△ 1.63	44.18	173.52
差異	0.79	0.68	0.60	0.41	4.35	93.22

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※S&P500種株価指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はスタンダード・プアーズ社に帰属しています。

■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数：199

	銘柄	国名	業種	%
1	APPLE INC.	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	6.38
2	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	5.61
3	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	3.88
4	AMAZON.COM INC.	アメリカ	小売	2.78
5	TESLA,INC.	アメリカ	自動車・自動車部品	1.74
6	VERIZON COMMUNICATIONS INC.	アメリカ	電気通信サービス	1.54
7	BERKSHIRE HATHAWAY INC.	アメリカ	各種金融	1.49
8	MERCK & CO.INC.	アメリカ	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.37
9	PFIZER INC.	アメリカ	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.28
10	LOWE'S COMPANIES	アメリカ	小売	1.17

■ 株式組入上位5業種 (%)

1	ソフトウェア・サービス	12.25
2	医薬品・バイオテクノ・ライフ	10.64
3	テクノロジー・ハードウェア	8.60
4	メディア・娯楽	7.00
5	ヘルスケア機器・サービス	6.55

※「株式組入上位10銘柄」「株式組入上位5業種」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A)〈適格機関投資家私募〉

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として欧州地域の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」(バリュー株)を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

■ 純資産総額

51 億円

■ 設定日

2001年10月16日

■ ベンチマーク

MSCI欧州株価指数

(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース)

■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率 表示桁数未満四捨五入

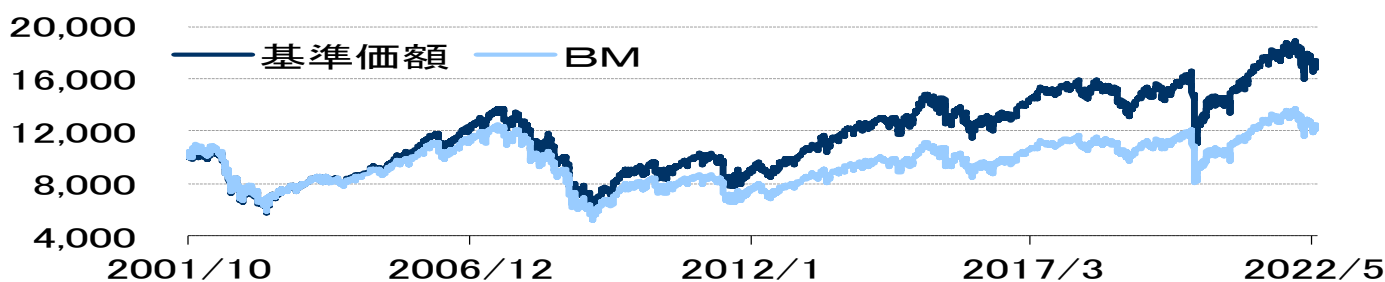
%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	1.41	△ 0.45	△ 2.30	0.54	18.52	74.26
BM	1.18	△ 1.40	△ 3.31	△ 0.22	16.81	25.38
差異	0.23	0.95	1.01	0.76	1.71	48.88

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。

※MSCI欧州株価指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。

■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数：171

	銘柄	国名	業種	%
1	NESTLE SA	スイス	食品・飲料・タバコ	2.92
2	NOVO NORDISK A/S	デンマーク	医薬品・バイオテクノ・ライフ	2.12
3	ROCHE HOLDING AG	スイス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	2.05
4	ASML HOLDING NV	オランダ	半導体・半導体製造装置	1.94
5	GSK PLC	イギリス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.86
6	SANOFI	フランス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.85
7	DIAGEO PLC	イギリス	食品・飲料・タバコ	1.80
8	SHELL PLC-NEW	イギリス	エネルギー	1.79
9	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE	フランス	耐久消費財・アパレル	1.66
10	ASTRAZENECA PLC	イギリス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.57

■ 株式組入上位5カ国(%)

1	イギリス	19.05
2	フランス	16.52
3	スイス	13.58
4	オランダ	10.91
5	ドイツ	10.50

■ 株式組入上位5業種(%)

1	医薬品・バイオテクノ・ライフ	13.55
2	資本財	10.24
3	食品・飲料・タバコ	8.03
4	エネルギー	7.93
5	保険	6.48

※「株式組入上位10銘柄」「株式組入上位5カ国」「株式組入上位5業種」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
 ※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。
 後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B)〈適格機関投資家私募〉

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、原則としてわが国の公社債に投資を行い、ベンチマークを中長期的にみて、上回る運用をめざします。外貨建資産に投資した場合は、原則として為替ヘッジを行います。

■ 純資産総額

219 億円

■ 設定日

2000年12月21日

■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率 表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	0.09	△ 0.62	△ 1.13	△ 0.88	△ 0.96	17.29
BM	△ 0.01	0.00	△ 0.52	△ 0.49	△ 1.14	22.30
差異	0.11	△ 0.62	△ 0.61	△ 0.39	0.18	△ 5.01

■ ベンチマーク

ブルームバーグ・日本総合(3-7年)インデックス

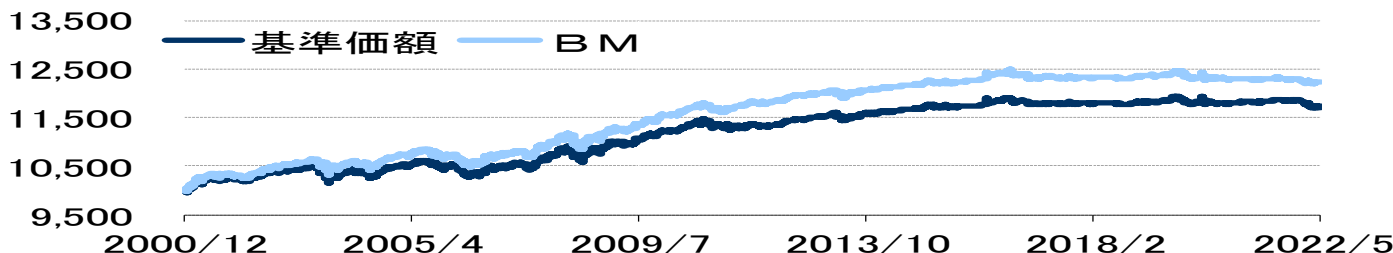
※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。

※ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・

日本総合(3-7年)インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 債券組入上位銘柄

	銘柄名	国名	Moody's	S&P	%
1	BNPパリバ	フランス	Baa1	A-	11.58
2	第364回利付国債(10年)	日本	-	A+	8.38
3	第13回シティグループ・インク円貨社債	アメリカ	A3	BBB+	4.28
4	第39回政府保証株式会社日本政策投資銀行	日本	A1	A	4.25
5	第357回利付国債(10年)	日本	A1	A+	4.22
6	HSBCホールディングス	イギリス	A3	A-	4.06

■ 格付別構成比率 (%)

AAA	0.00
AA	2.99
A	81.28
BBB	15.73
BB以下(無格付含)	0.00

■ ファンド情報

平均格付	A
平均クーポン	0.56%
平均利回り	0.56%

■ 債券種別構成比率 (%)

国債	16.78
地方債	1.04
特殊債・財投債	12.52
金融債	0.00
社債等	69.32
その他	0.00
短期資産等	0.34

※「債券組入上位銘柄」「格付別構成比率」「債券種別構成比率」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。

※海外格付機関の格付を優先し、海外格付機関の格付取得の無い発行体は国内格付機関の格付けを採用します。

※債券種別構成比率「短期資産等」には債券先物が含まれています。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。

※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。

後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

注意事項



変額保険の仕組み

変額保険とは、保険金額が「特別勘定」の資産運用実績にもとづいて変動する生命保険です。

*特別勘定とは、変額保険にかかわる資産の管理・運用を行うもので、他の保険種類にかかわる資産とは区分し、独立して管理・運用を行います。



変額保険のリスクについて

①市場リスク

特別勘定の資産運用には、株価の低下や為替の変動等による投資リスクがあります。場合によっては、お受け取りになる保険金額(有期型の場合、満期保険金を含む)や解約払いもどし金額の合計額が、払い込まれた保険料の合計額を下回る可能性があります。なお運用実績にかかわらず、死亡・高度障害時保険金は保証されています。

②信用リスク

万一、引受生命保険会社が経営破綻に陥った場合、ご契約時にお約束した給付金等の金額が削減されることがあります。その場合、生命保険契約者保護機構により、保険契約者保護の措置が図られることがありますが、この場合にも、ご契約時の給付金等の金額が削減されることがあります。